

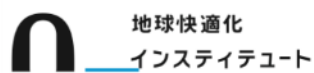
# 講座のめざす目標と ロードマップ -希望を集め 未来を創る-

東京大学 総括プロジェクト機構  
「プラチナ社会」総括寄付講座

代表・教授  
特任講師  
特任講師

大久保 達也  
菊池 康紀  
森 純一郎

# 謝辞



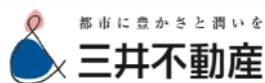
株式会社地球最適化インスティテュート



日本電信電話株式会社



富士フイルムホールディングス株式会社



三井不動産株式会社



株式会社LIXIL

# 複雑・多様化する社会の課題例

## エネルギー

- 低い資源自給率
- 低い電源負荷率
- 分散型電源による供給不安定性
- 自然災害等リスクへの耐性
- 必要機能の維持

## 経済・雇用

- 産業構造の変化
- 一次産業の衰退
- 労働人口の減少

## 高齢社会

- 高齢者層の割合の急激な上昇
- 社会保障の改革
- 労働率の維持
- セカンドライフ就労事業の確立

## 社会システム

## 環境・健康・安全と安心

- 現実的な温室効果ガス削減シナリオの策定
- 生物多様性等生態系への影響
- 有害化学物質の使用と排出
- 安全と安心の乖離

## 資源循環

- 有効資源の回収システムの構築
- 未利用資源の有効利用技術の開発と導入
- 資源循環を考慮した製品製造システムの構築

# 設立趣意

日本は **課題先進国**

日本社会が抱える課題の解決には  
全く新しいパラダイムと個別技術にとらわれない  
新たな社会システムづくりが必要

「プラチナ社会」総括寄付講座

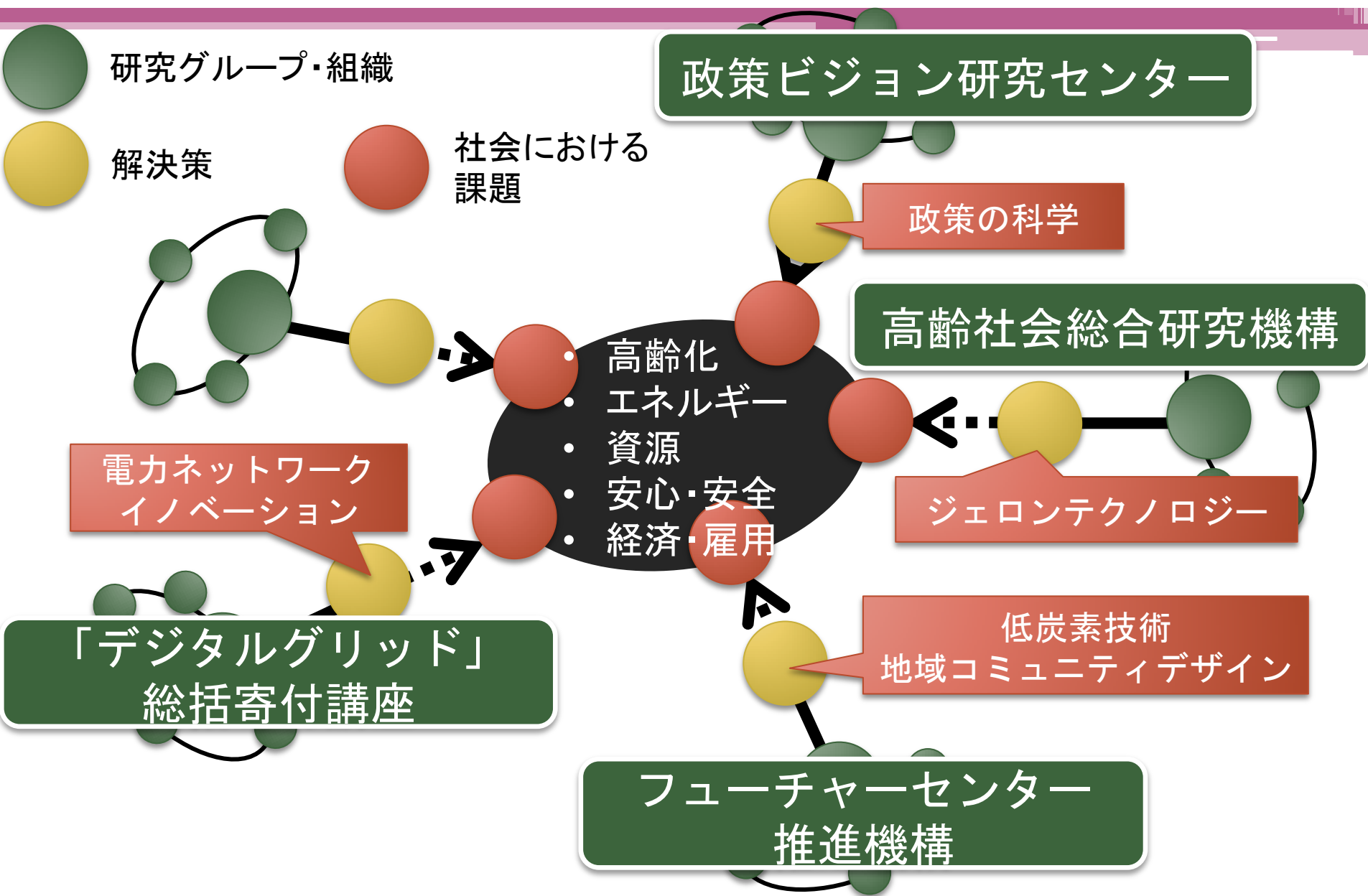


東京大学の全学の知を結集し、

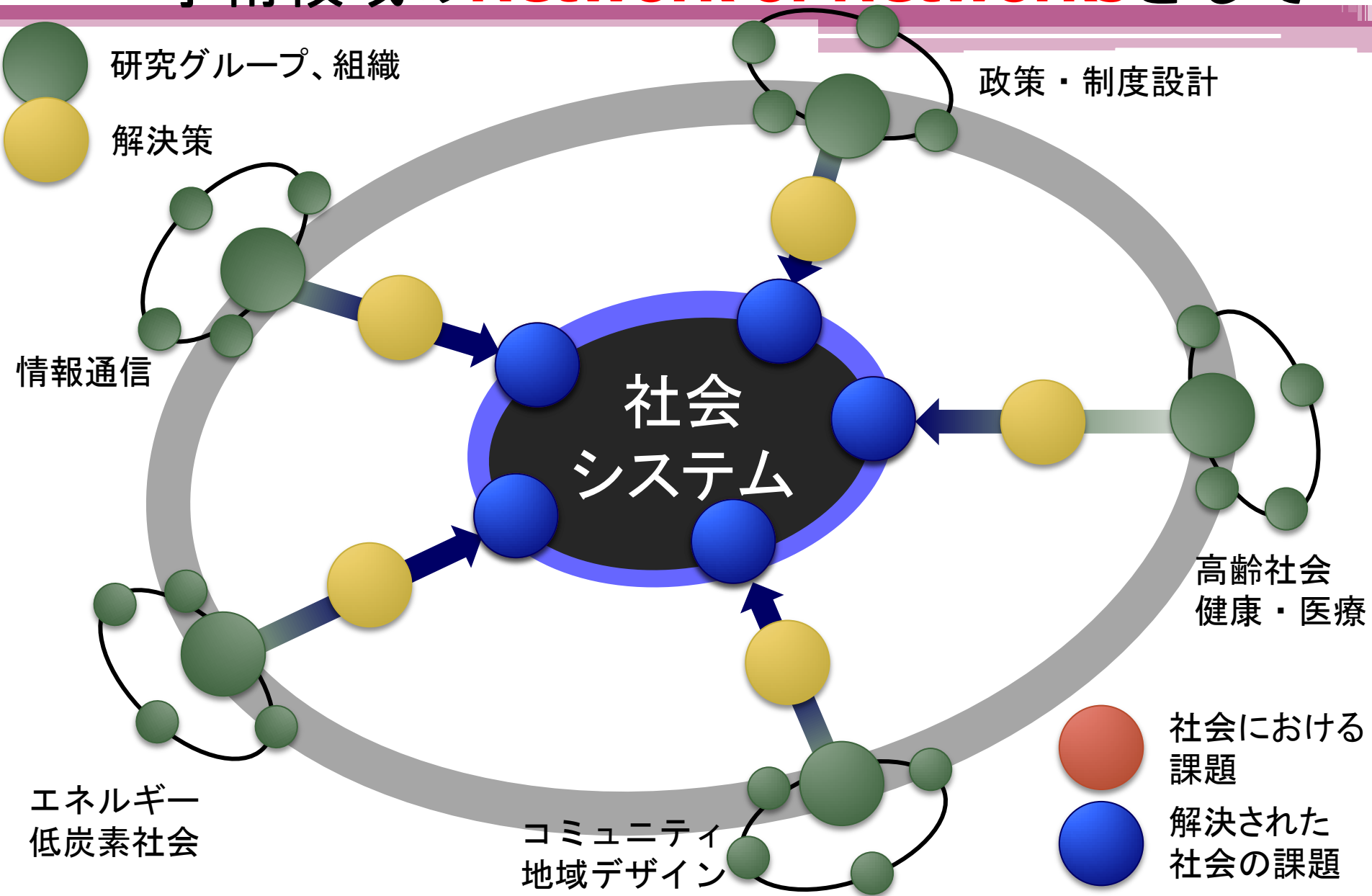
学術的な理論体系を構築、必要な人材育成、発信・提言

「**プラチナ社会**」 持続可能で豊かな活気ある将来社会

# 各研究グループによる社会課題へのアプローチ



# 社会システムにおける課題の解決： 学術領域の**Network of Networks**として



協力研究者・研究グループ

 プラチナ構想ネットワーク

地域・自治体  
(社会実装のケーススタディ)



東京大学

THE UNIVERSITY OF TOKYO

「プラチナ社会」  
総括寄付講座



地球最適化  
インスティテュート



NTT

FUJIFILM



都市に豊かさと潤いを  
三井不動産

LIXIL

# 研究活動の基本軸

## ●「プラチナ社会」実現への知識の構造化

- 実際の課題（ニーズ）と技術や知識（シーズ）の体系化
- 方法論を構築するためのケーススタディの実施

## ●「社会実装」の方法論と手段（ツール）の構築

- 学術的な知識を社会へ伝える  
ツール（ソフトウェアツール、ロールモデル）の構築
  - ✓ 分かりやすいインタフェースを持ったツールの構築
  - ✓ 産学公民のロールモデルの提案

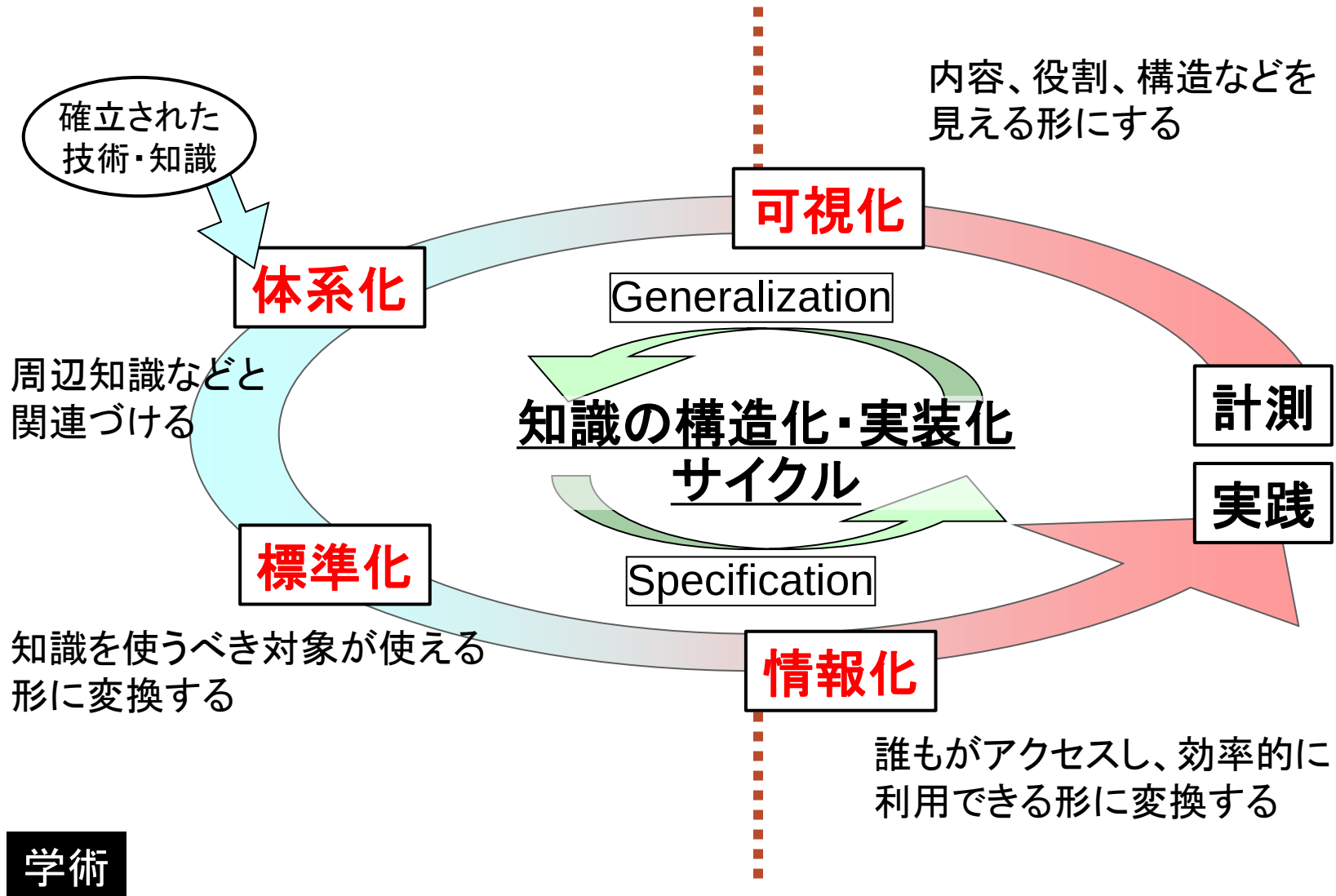
## ●人材育成

- 「俯瞰的視野で社会実装」できる企画研究人材の育成・協働
- 具体的ケーススタディ

## ●シンポジウム等社会発信と政策提言

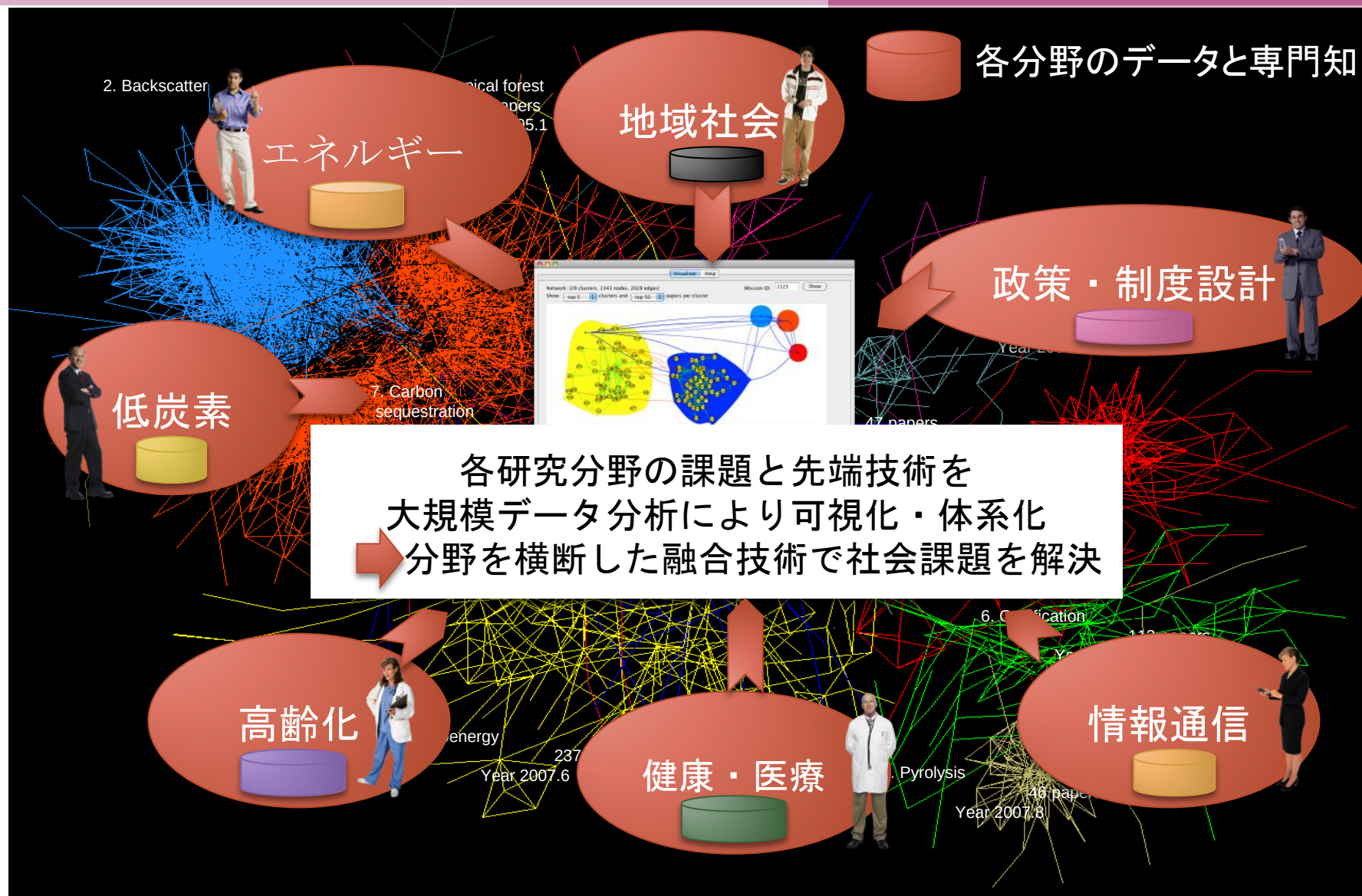


# 知識の構造化・実装化サイクル



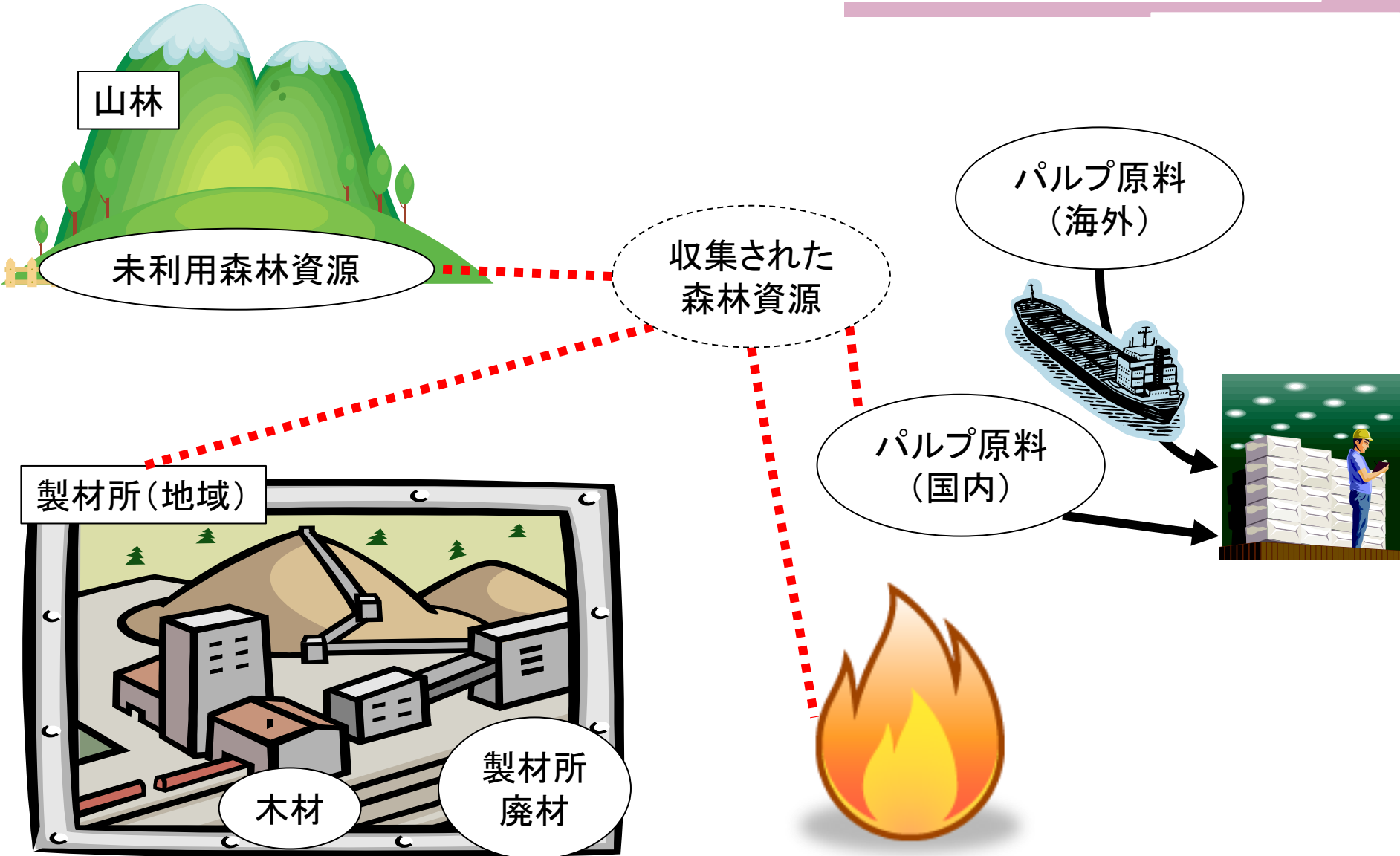
# 希望を集める： 事例検討

# 課題と技術の可視化・体系化



# 健康で活力ある社会実現 へ課題と技術の体系化

# 地域システムと資源

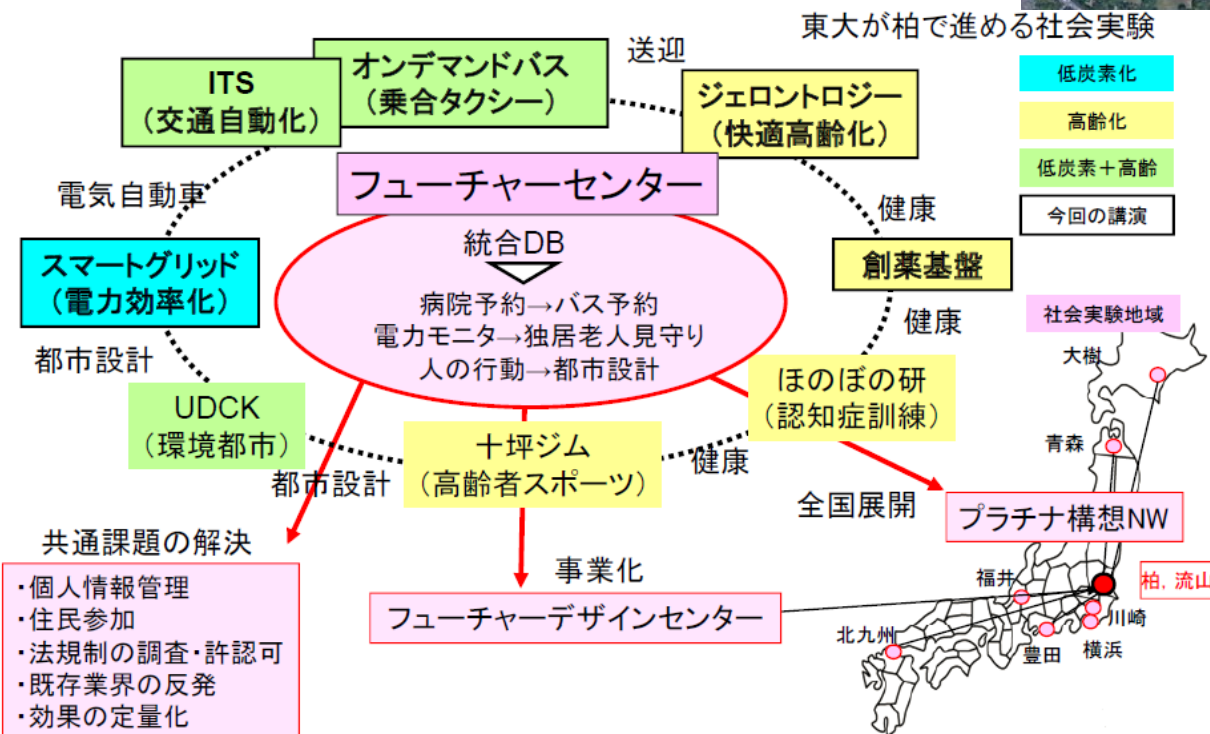


# 地域社会活性化のための ロールモデルの標準化



# 社会実装の取組

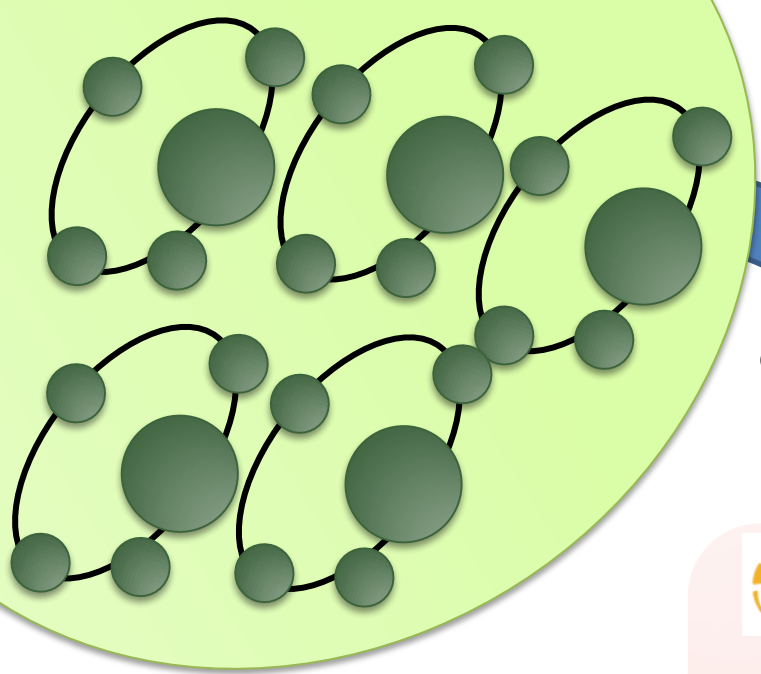
例：  
東京大学フューチャーセンター推進機構  
による取組



<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/news/FCsymp/#toiawase>

個別地域／組織での  
経験を有効に再利用





研究成果



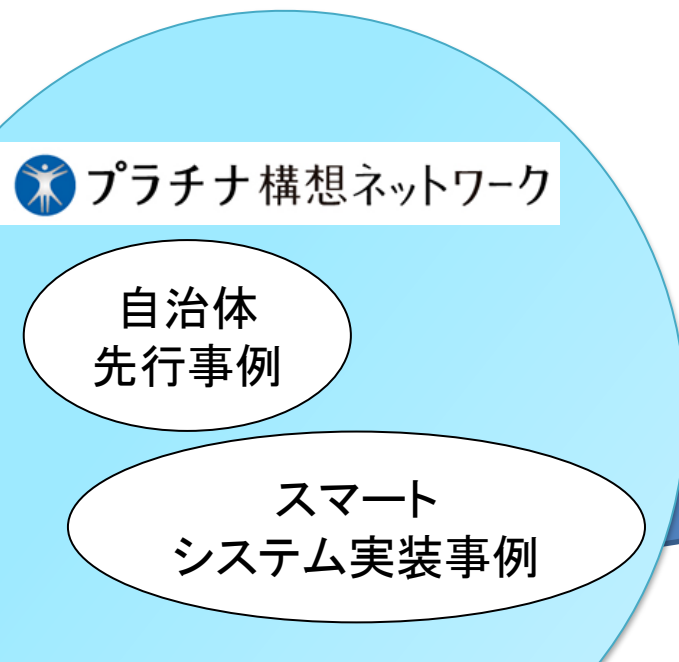
東京大学

THE UNIVERSITY OF TOKYO

「プラチナ社会」  
総括寄付講座



既往事例



プラチナ構想ネットワーク

自治体  
先行事例

スマート  
システム実装事例

社会実装  
ツール

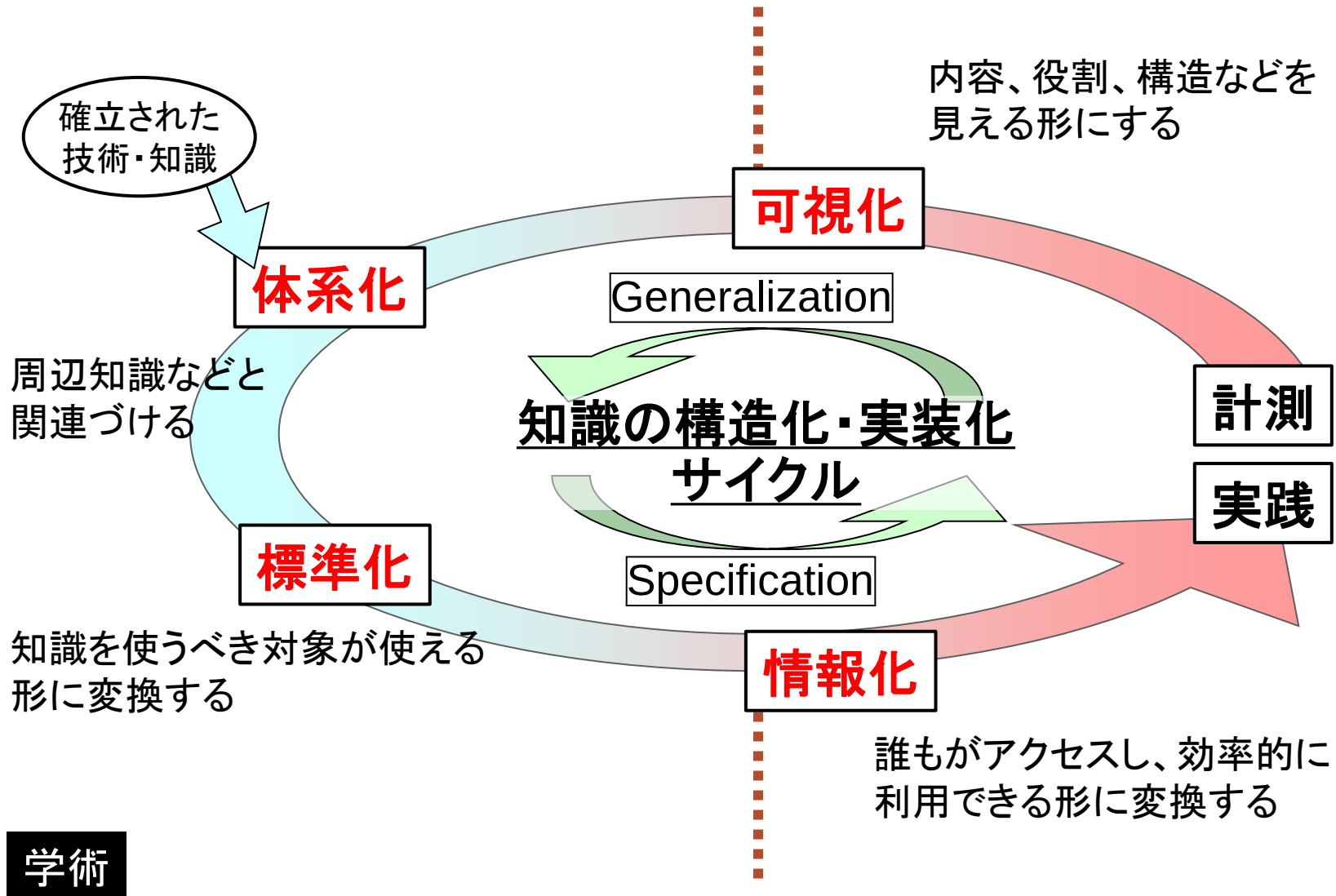
- ・ ツール
- ・ データベース

学術基盤

- ・ 構造化手法
- ・ 大規模データ処理手法

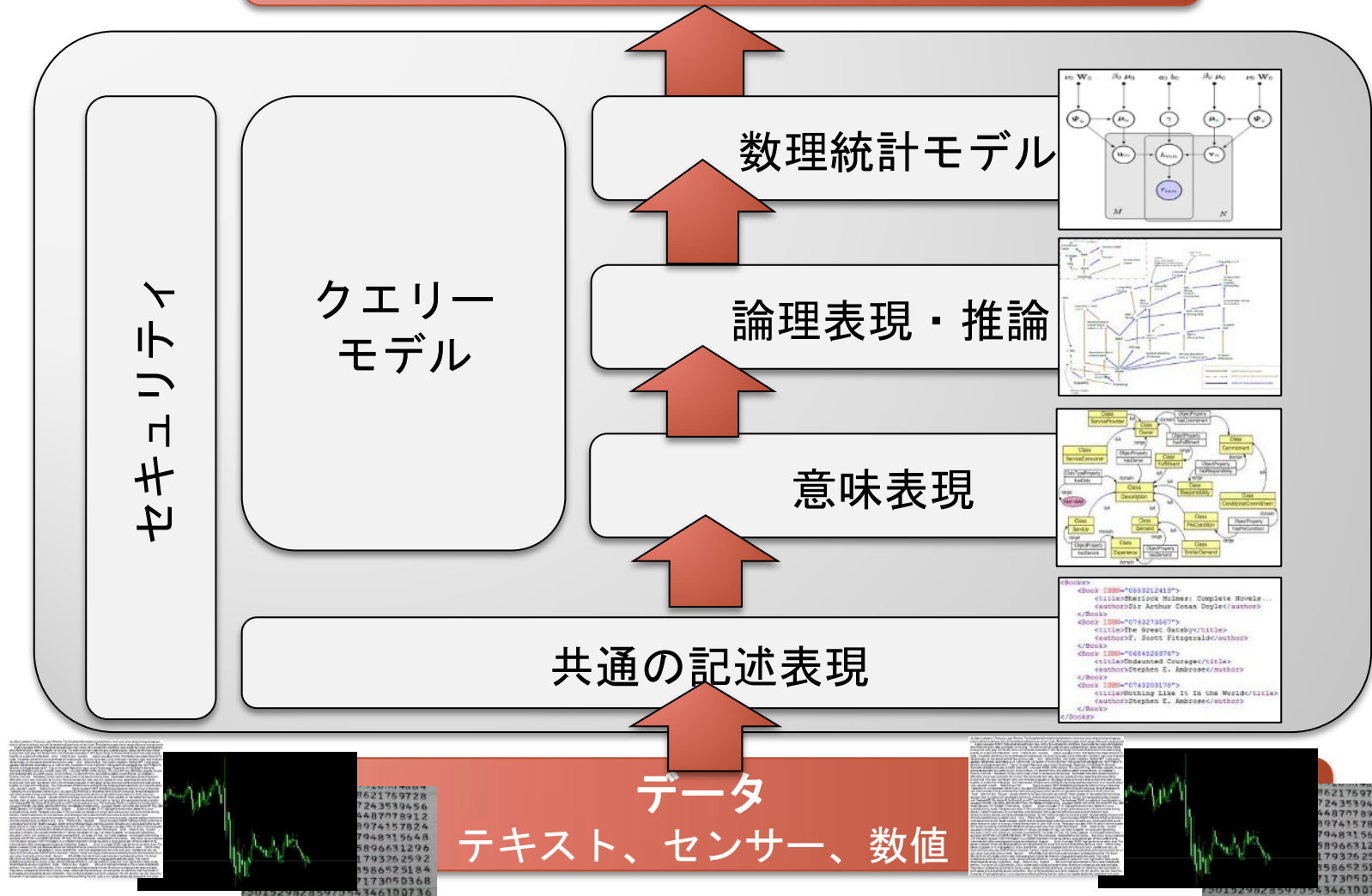
可視化、体系化、  
標準化、情報化

# 知識の構造化・実装化サイクル

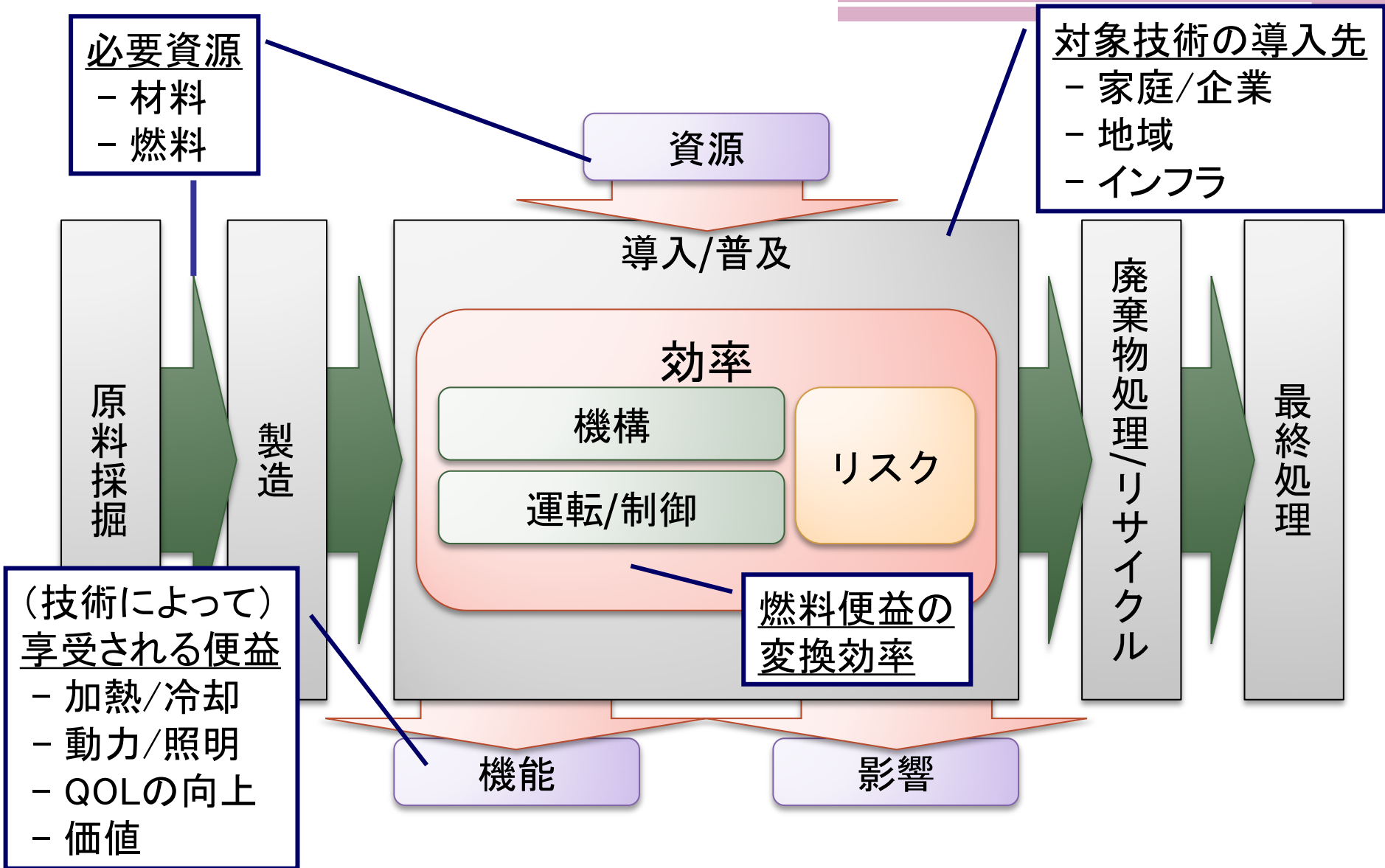


# 大規模データからの知の構造化手法

技術モジュール システムモデル



# 課題解決のための 技術（機器）モジュールの作成



意思決定（政策、技術、製品etc）

条件

結果

情報基盤

スマートシステムの提案

選択肢の  
生成

選択肢

選択肢に含まれる  
技術とシステムの  
モデル

評価  
&  
解釈

- 環境影響
- リスク
- コスト
- QOL (快適さ等)
- 価値

体系化された  
地域デザイン事例

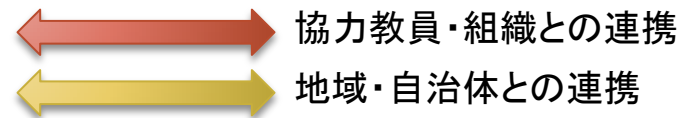
技術モジュール

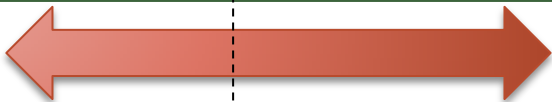
シミュレータ

評価情報

評価事例

# 講座のロードマップ



|                                                | 2012年度                                                                             |   | 2013年度                                                                              |   | 2014年度                                                                                |   | 2015年度 |   | 2016年度 |   |
|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|---|--------|---|--------|---|
|                                                | 前                                                                                  | 後 | 前                                                                                   | 後 | 前                                                                                     | 後 | 前      | 後 | 前      | 後 |
| 社会課題と技術知識の<br>構造化手法の構築                         |  |   |                                                                                     |   |                                                                                       |   |        |   |        |   |
| ケース<br>スタディ<br>高齡化・健康医療<br>エネルギー<br>農林業<br>その他 |                                                                                    |   |  |   |                                                                                       |   |        |   |        |   |
|                                                |                                                                                    |   |   |   |                                                                                       |   |        |   |        |   |
|                                                |  |   |                                                                                     |   |                                                                                       |   |        |   |        |   |
|                                                |                                                                                    |   |  |   |                                                                                       |   |        |   |        |   |
| 「プラチナ社会」デザインの<br>ためのモデルと評価指標の<br>設計            |  |   |                                                                                     |   |                                                                                       |   |        |   |        |   |
| データベースおよびツールの<br>設計と実装                         |                                                                                    |   |                                                                                     |   |   |   |        |   |        |   |
| 評価用ケーススタディ                                     |                                                                                    |   |                                                                                     |   |  |   |        |   |        |   |
| 社会実装<br>(ツールの構築と政策・制度提言)                       |                                                                                    |   |                                                                                     |   |  |   |        |   |        |   |

先行ケースにおける知識の構造化



特任講師： 森 純一郎  
大規模データ分析

特任講師： 菊池 康紀  
技術評価とモデリング、知識の構造化

秘書： 斉藤亜矢子

秘書： 林良枝





# 運営委員

---

- 坂田一郎 政策ビジョン研究センター 教授
- 鮫島正浩 農学生命科学研究科 教授
- 大和裕幸 新領域創成科学研究科 教授  
フューチャーセンター推進機構 機構長

# アクセス：伊藤国際学術研究センター 2F



# 希望を集め 未来を創る



東京大学「プラチナ社会」総括寄付講座 設立記念シンポジウム  
平成24年10月15日(月)